

# 「ブルーカーボン研究会」 第3回講演会の開催

○日 時：平成31年1月22日（火） 13時～17時30分  
○場 所：TKP御茶ノ水カンファレンスセンター ホール2F  
（東京都千代田区神田駿河台4-3 新お茶の水ビルディング）

○プログラム（予定）：

12：00～受付開始

13：00～開演

## 【開会】

【講演】（講演内容や順番について変更させていただく可能性があります。）

### 1. アマモ場の再生と海藻藻場の造成（13:15～15:20）

- ① 松島湾におけるアマモ場再生（東北大学）
- ② 東京湾におけるアマモ場再生（国土交通省関東地方整備局）
- ③ 岩国におけるアマモ場再生・海藻藻場造成（宇部工業高等専門学校）
- ④ 北海道における海藻藻場造成（新日鉄住金（株））
- ⑤ 岩館漁港における海藻藻場造成（石炭エネルギーセンター）
- ⑥ 敦賀湾における海藻藻場造成（国土交通省北陸地方整備局）
- ⑦ 博多湾におけるアマモ場再生（福岡市港湾空港局）
- ⑧ 響灘における海藻藻場造成（電源開発（株））

### 2. ブルーカーボンの調査と実験（15:40～17:10）

- ① スラグを用いたアマモ場生育実験（産業技術総合研究所）
- ② 横浜市におけるブルーカーボン調査（横浜市温暖化対策統括本部）
- ③ 千葉、三重、大阪湾におけるブルーカーボン調査（国立環境研究所）
- ④ 大阪南港野鳥園、播磨灘、英虞湾におけるブルーカーボン調査（大阪市立大学）
- ⑤ 大阪十三干潟におけるブルーカーボン調査（大阪府立大学工業高等専門学校）
- ⑥ 沖縄におけるブルーカーボン調査（東京大学大気海洋研究所）

17：30 閉会

17：45～意見交換会（会費：4,000円、要事前申込）

## 《開催趣旨》

ブルーカーボンについては、2009年に国連環境計画の報告書「BLUE CARBON」の中で、海洋において海草等により吸収・固定される炭素として、新たに命名される等、近年、地球温暖化対策の新しい可能性として注目されています。

ブルーカーボン研究会では、我が国で初めて、ブルーカーボン生態系を活用した将来のCO<sub>2</sub>吸収量見込みを試算しました。

今回は、全国各地の港や海域でブルーカーボンに関連する取り組みを行っている14の産学官の活動主体から、それぞれの実践報告を行って頂く予定です。是非、皆様のご参加をお待ちしています。

